

試合に関する諸注意

横浜地区高等学校体育連盟テニス専門部

A 選手のマナー

テニス・プレーヤーとして最低限守ってほしいマナーをここに示すので、各自自覚して行動してほしい。

- 1 ; 服装はテニスウェア（県の服装規定に準ずる）。
- 2 ; **試合は連続して行う**こと。ポイントが終了したら直ちに次のポイントを始める。ダブルスでパートナー同士が長く相談することなどないように。失格となることがある。
- 3 ; ラケットやボールをたたきつけたり蹴ったりしない。周囲に不快感を与えるような行動は厳に慎むべきである。
- 4 ; 相手のサービス（特にファースト）が明らかにフォールトした場合などは、ネットの隅に、軽くかけるようにする。ダブルスの場合など、ストレートに強打したりすると、思わぬ事故につながる。
- 5 ; 缶のふたは、各自缶の底などに入れて持ち帰る。**携帯電話などの電源を切る**こと。

B 応援について

拍手だけである。

- 1 ; 特に**イン・プレー中の発声は絶対にやってはいけない**。選手の集中を乱し、場合によってはミス・ジャッジやトラブルの元となる。
- 2 ; イン・プレー中にコートの後ろを通らない。（ファースト・サービスと、セカンド・サービスの間もイン・プレー中である。）これは応援に限らず、選手やボール・パーソンも同じである。
- 3 ; 相手選手をヤジを飛ばしたり罵倒したりすることは、テニス・プレーヤーとして最も恥ずべき行為である。厳に慎むこと。
- 4 ; **コーチングはベンチコーチのみがチェンジコートの間だけ行うことができる。ただし第1ゲームと第2ゲームの間と、タイブレーク中のチェンジコートではベンチに座ることができないので、コーチングもしてはならない。チェンジコートの際のコーチングは1分以内で行うこと。**

C ボール・パーソンについて

ボール・パーソンの役割は、プレーを中断させないように、試合進行を助けることである。以下の点に注意すること。

- 1 ; **素早くボールを拾う**。特にファースト・サービスとセカンド・サービスの間は、プレーを中断させないように速やかに拾う。
- 2 ; 他のコートからのボールを返球する場合、コートを横切らせたりコートの中を通したりしない。ノットレディとなったり、イン・プレー中の場合はレットとなつてプレーを中断させてしまう。
- 3 ; **応援はしてはいけない**。また選手と会話したりタオルを預かったりしてはいけない。

タイブレークのやり方（7ポイント・タイブレーク決戦方式）

横浜地区高等学校体育連盟テニス専門部

A 6－6タイブレーク 1セット・マッチについて

- 1 ; 相手に対して2ゲーム以上の差をつけて、6ゲームを先取した者が、その試合の勝者となる。
- 2 ; スコアが5－5となった場合は、続く2ゲームを連取して7－5とした者が、その試合の勝者となる。
- 3 ; スコアが6－6となった場合は、第13ゲームは7ポイント・タイブレーク決戦方式で行う。

B 7ポイント・タイブレーク決戦方式のやり方について

- 1 ; 第1ポイントは、第13ゲームのサービスをする順番のプレーヤー（つまり、第1ゲームのサーバー）が、右コート（フォア・サイド）へサービスをする。
- 2 ; 第2ポイント以降は、その試合の第2ゲームのサーバーから、左コート（バック・サイド）、右コート（フォア・サイド）の2ポイントずつ、順次サービスを行う（例を参照のこと）。
- 3 ; ポイントは、1－0（ワン・ゼロ）、1－1（ワン・オール）、2－1（ツー・ワン）のように、普通の数字でカウントする。
- 4 ; 両者のカウントの合計が、6の倍数（6－0、5－1、4－2、3－3、6－6 etc）になったら、チェンジ・コートを行う。
- 5 ; 相手に対し、2ポイント以上の差をつけて、7ポイントを先取した者が、その試合の勝者になる。カウントが6－6となった場合は8－6、7－7になった場合は9－7と、必ず2ポイント差がつくまで（つまり2ポイント連取するまで）行う。
- 6 ; 試合終了時のゲーム・スコアは、7－6となる。

*例 ダブルス A (1,2)と B (1,2)の試合の場合。
サービス順は、A1 , B1 , A2 , B2 であったとする。

第1ポイント、A1 が右コートへサービス。
第2ポイント、B1 が左コートへサービス。
第3ポイント、B1 が右コートへサービス。
第4ポイント、A2 が左コートへサービス。
第5ポイント、A2 が右コートへサービス。
第6ポイント、B2 が左コートへサービス。

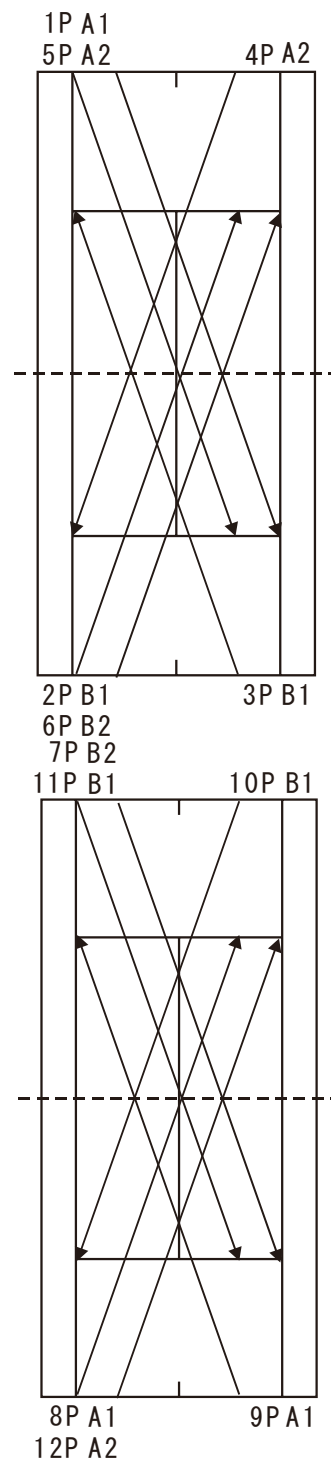
チェンジ・コート

第7ポイント、B2 が右コートへサービス。
第8ポイント、A1 が左コートへサービス。
第9ポイント、A1 が右コートへサービス。
第10ポイント、B1 が左コートへサービス。
第11ポイント、B1 が右コートへサービス。
第12ポイント、A2 が左コートへサービス。

チェンジ・コート

第13ポイント、A2 が右コートへサービス。
第14ポイント、B2 が左コートへサービス。
第15ポイント、B2 が右コートへサービス。

以下省略



*シングルスの場合は、上の例のAとBの試合と考えて、(1, 2)を無視すれば良い。